

SECURITYCAMP2027 コネクト

法律/AI/脅威/宇宙/ハードウェア/ネットワーク/無線通信/ファームウェア

2027年3月20日(土曜日)～23日(火曜日)

クロス・ウェーブ船橋(千葉県船橋市本町2-9-3)

受講料・食事代・宿泊費用が無料！ 交通費も支援
※受講に必要なPCや通信環境等、受講者本人でご用意いただくものがあります。

日本国内の学校に在籍する学生であれば応募可
※年齢上限・参加要件がございます。詳細はWEBページにてご確認ください

応募の流れ

1. エントリー手続き
締切 2026年12月2日(水曜日)
IPAページに掲載されている
WEBフォームへ必要事項を入力

2. 応募課題を提出
締切 2026年12月9日(水曜日)
エントリー完了メールに記載の
指定URLから応募課題を提出

3. 選考通過者発表
2026年12月23日(水曜日)
IPAページにて発表します
選考通過者には個別に
参加手続メールをお送りします






主催 ▸ 独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会
共催 ▸ 経済産業省　後援 ▸ デジタル庁、法務省、文部科学省、サイバーセキュリティ戦略本部
お問い合わせ ▸ IPA セキュリティ・キャンプ事務局(独立行政法人情報処理推進機構)　✉ iac-camp@ipa.go.jp
イベント情報(セキュリティ・キャンプ トップページ) ▸ https://www.ipa.go.jp/jinzai/security-camp/index.html

Aコース 法律/AI/脅威/宇宙

法律 ×セキュリティ

サイバーセキュリティ分野で活躍する法律専門家を目指し、インシデント対応や法律相談・交渉の実践演習に取り組みます。

AI ×セキュリティ

急速に発展している生成AI技術により、社会は大きな変革期を迎えている一方、様々なリスクや課題にも直面しています。
AI×セキュリティコースでは、フィジカルAIシステムを題材に、各課題に対する技術的アプローチを学び、安心できるAI環境について理解を深めます。

脅威 ×セキュリティ

サイバーセキュリティ上の問題は、常に「脅威主体」で行われます。
本講義では、脅威情報の収集・分析技法、脅威自体の理解（攻撃者の理解）について、技術的・非技術的な観点から学び、脅威を分析する技術を身に着けることを目的にしています。

宇宙 ×セキュリティ NEW!

宇宙を飛んでいる人工衛星もセキュリティと無縁ではありません。物理的な破壊攻撃のほか、通信電波の妨害・盗聴・なりすましや、インターネットからの衛星の乗っ取りも可能です。宇宙におけるセキュリティについて考えます。

Bコース ハードウェア/ネットワーク/無線通信/ファームウェア

ハードウェア ×セキュリティ NEW!

物理実体を持つIoTデバイスにおいては量産等の物理的な幅広い制約からは逃れられません。
ここではハードウェアに関わる検査や工作技術を学んだ上で、現実の様々な制約と向き合いながらどのように信頼の基点を構築すべきかを学びます。

ネットワーク ×セキュリティ NEW!

インターネットは今や空気のように当たり前な存在ですが、インフラとして求められるセキュリティは向上し続けています。
本ゼミでは小規模なAS(自律システム)の構築・運用を通じて、インターネットの物理・論理的な構造や、インターネットという基盤自体への攻撃や防御への理解を深めます。

無線通信 ×セキュリティ NEW!

IoT機器に不可欠な無線通信は、その脅威が見落とされがちです。
本クラスではSDRを用いた観測・解析・通信妨害などの実習を通じて、妨害や欺瞞に強いシステム設計を学びます。

ファームウェア ×セキュリティ NEW!

何らかのマイコンボードで動作するファームウェアを作成し、各種のデバイスを動かすアプリケーションを開発することで、アプリケーション開発の視点からデバイスやプラットフォームのセキュリティを考察します。

セキュリティ・キャンプ コネクトとは？

セキュリティ以外の分野を専門とする学生を対象に、セキュリティの考え方や視点に触れる機会を提供する合宿形式のイベントです。異なる分野のバックグラウンドを持つ受講者が、セキュリティ的な視点を身につけることで、従来の枠にとらわれない新しいセキュリティ人材層の発掘・育成を行います。

自分が理解できなかった部分を聞くことや、自分の知らない技術について知ることが出来るのはとても新鮮で、仲間と共に学ぶことの大切さを実感することが出来た。
（20歳 大学生）

Beyond Digital
独立行政法人 情報処理推進機構
Information-technology Promotion Agency, Japan